

医療安全対策部

1. スタッフ（平成24年4月1日現在）

部長（医師）	◎長谷川 剛（専）
教授	河野龍太郎（兼）
医師	堀江 久永（兼）
	市田 勝（兼）
	鈴木 義彦（兼）
助教	浅田 義和（兼）
看護師	○篠原 和子（兼）
	◎寺山 美華（専）
	◎野澤 博子（専）
薬剤師	○泉 玲子（兼）
	須藤 俊明（兼）
臨床工学技士	庭山 秀毅（兼）
事務	6名

◎ 専任医療安全管理者

○ 医療安全管理者

2. 医療安全対策部の特徴

附属病院で発生する医療安全上の諸問題について組織横断的に対応する為に、平成15年に医療安全対策室が設置された。医療安全対策室は病院長直轄組織として、専任の看護師や事務職員を配置し、院内で発生する種々の問題に対応する。具体的には院内報告制度の整備、職員教育機会の提供、事例分析、院内巡視、有害事象後の対応などの活動を行ってきた。しかしながら、医療安全問題に対するニーズは社会的にも非常に高まっており、医療安全対策室の業務内容も、多様でかつ増加の一途を辿っている。

平成16年に医療安全対策室を医療安全対策部として組織改編を行い、平成17年4月からは、部長が長谷川に交代となり、毎年更なる組織の充実を図っている。

医療安全・患者安全を確保する為には、附属病院内での安全文化の醸成が重要である。これは職員の意識と行動を変えていくことであり、毎日の粘り強い努力の結果として達成できるものだと考えている。医療安全対策部では、附属病院職員が安全で質の高い医療を提供することで、患者・職員双方にとって信頼のできる病院となるような環境作りを目指している。

3. 実績・クリニカルインディケーター

●業務内容

- (1) 医療安全に関する情報収集、分析、改善策の立案、周知、評価
- (2) 医療安全対策の提案・情報提供（啓発活動）
- (3) 職員に対する教育（講演会、研修会の開催）

(4) 紛争事例への対応（経営管理課、総合相談室と連携）

●平成23年のおもな活動実績

(1) 医療安全策講演会（全職員対象）

①医療安全・感染対策講演会

開催日	2月9日
	2月17日（DVD上映会）
	2月22日（DVD上映会）
	2月25日（DVD上映会）
	2月28日（DVD上映会）

演題 「ノンテクニカルスキルについて」
医療安全対策部 長谷川 剛
「輸液管理における感染対策」
感染制御部 森澤 雄司

参加者 1,478名

②医療安全対策講演会

開催日	6月15日
演題	「静脈麻酔薬による鎮静」 －安全な使用－ 麻酔科 竹内 護 「胃チューブの挿入から管理まで」 接触嚥下障害看護認定看護師 戸田 浩司

参加者 645名

③安全塾

開催日	6月24日
課題	「医療安全」 医療安全対策部 長谷川 剛 「救急蘇生ガイドラインの変更」 救命救急センター 加藤 正哉

参加者 687名

④人工呼吸管理研修会

開催日	7月4日
課題	「人工呼吸管理の基礎」 集中治療部 布宮 伸

参加者 264名

⑤安全塾

開催日	8月29日
演題	「取り違え」 医療安全対策部 長谷川 剛

参加者 841名

⑥医療安全・感染対策講演会

開催日	9月29日
	10月14日（DVD上映会）
	10月15日（DVD上映会）

演 題 「KY(危険予知)ポストに寄せられた事例」

医療安全対策部 樋口 一江

” 寺山 美華

「多剤耐性アシネトバクターによる院内
感染の制御」

感染・免疫 林 俊治

参加者 1,222名

⑦人工呼吸管理研修会

開催日 11月21日

演 題 「人工呼吸管理」

集中治療部 布宮 伸

” 茂呂 悦子

参加者 214名

・救急カートに関する検討会

・4階A病棟事例検討会

11月・AED研修会

・ヒューマンファクターズアプローチ
アドバンスコース

・人工呼吸管理研修会

・危険薬説明会

・中心静脈カテーテル挿入認定講習会

・エコー下中心静脈カテーテル挿入研修会

・泌尿器科事例検討会

・中央手術部事例検討会

12月・AED研修会

・ヒューマンファクターズアプローチ
アドバンスコース

・人工呼吸管理研修会

・危険薬説明会

(2) 医療安全に関する主な検討会・勉強会

1月・看護補助員研修会

・輸液・シリンジポンプ勉強会

・AED研修会

2月・人工呼吸管理勉強会

・AED研修会

4月・新人研修医研修会

・新人オリエンテーション

・中心静脈カテーテル挿入認定講習会

・新人看護師研修会

・中途採用者等講演会

・輸液・シリンジポンプ研修会

・3階A病棟事例検討会

5月・看護補助員研修会

・AED研修会

6月・AED研修会

・ヒューマンファクターズアプローチ入門

・危険薬説明会

7月・AED研修会

・ヒューマンファクターズアプローチ入門

・人工呼吸管理研修会

・危険薬説明会

・4A事例検討会

・中央放射線部事例検討会

8月・ヒューマンファクターズアプローチ入門

・人工呼吸管理研修会

・4階A病棟事例検討会

・危険薬説明会

9月・AED研修会

・ヒューマンファクターズアプローチ入門

・人工呼吸管理研修会

10月・AED研修会

・ヒューマンファクターズアプローチ入門

・人工呼吸管理研修会

・インスリン勉強会

・危険薬説明会

(3) 医療安全に関する主な技術研修

①中心静脈カテーテル挿入

②レジデントオリエンテーション

点滴・採血等の演習

医療安全に関する講義

③新人看護師研修会

インスリン 輸液・シリンジポンプ

④エコー下中心静脈カテーテル挿入

⑤ヒューマンエラー事象分析勉強会

⑥人工呼吸管理勉強会

(4) 医療安全管理指針、マニュアル改正等

①医療安全管理指針(一部改正)

②リスクマネジメントマニュアル(ポケット版)
第4版

(5) あんぜん便り・安全情報

①インスリン専用シリンジの使用について

②輸液・シリンジポンプの充電について

③手術部位の左右の取り違え

④ワルファリンカリウムの内服状況や凝固機能の把握
不足

⑤2010年に提供した医療安全情報

⑥病理診断時の検体取り違え

⑦体位変換時の気管・気管切開チューブの偶発的な抜
去

⑧2006年から2009年に提供した医療安全情報

⑨MRI検査時の高周波電流のループによる熱傷

⑩PTPシートの誤飲

⑪皮下用ポート及びカテーテルの断裂

⑫電気メスペンシルの誤った取扱いによる熱傷

⑬有効期限が過ぎた予防接種ワクチンの接種

⑭併用禁忌の薬剤投与

(6) J-CIP (インシデント・アクシデント報告システム)

- ①KY (危険予知) ポストシステムをJ-CIP上での運用に移行
- ②事象分析システムの内容改修

(7) 検討、改善事項等

- ①医療安全総点検月間 (5月) の実施
- ②CT検査時の患者確認方法の見直し
- ③外来部門の左右確認が必要な治療・検査の確認ルール
- ④メピバカイン注の濃度違いの表示検討
- ⑤インスリン、及び専用シリンジ設置場所の表示
- ⑥除細動機充電中表示がメーカーごとに違うことの周知
- ⑦救急カート管理体制の見直し

(8) 医療安全対策委員会 (委員20名)

毎月1回 第2火曜日

(9) リスクマネージャー会議

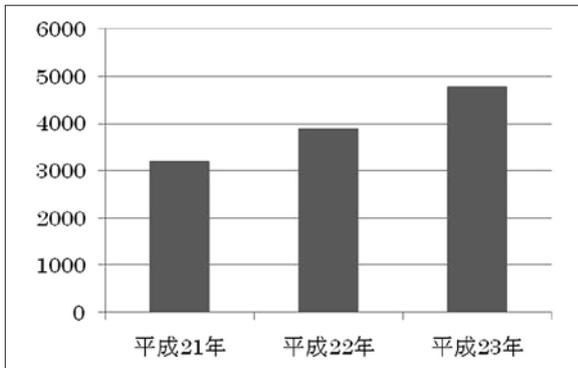
隔月1回 第3木曜日

(10) モーニングカンファレンス

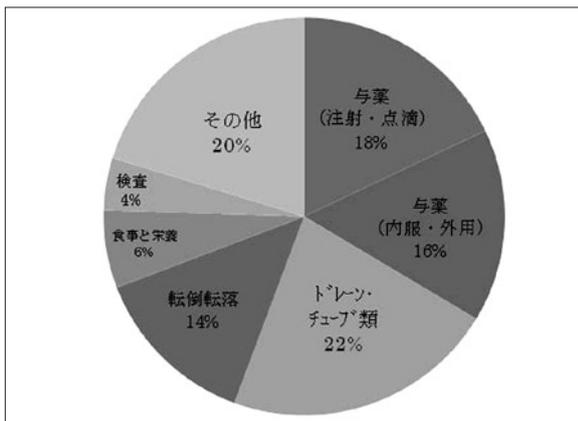
毎週水曜日

(11) インシデント・アクシデントレポート

- ①報告件数比較 (平成21年~23年)

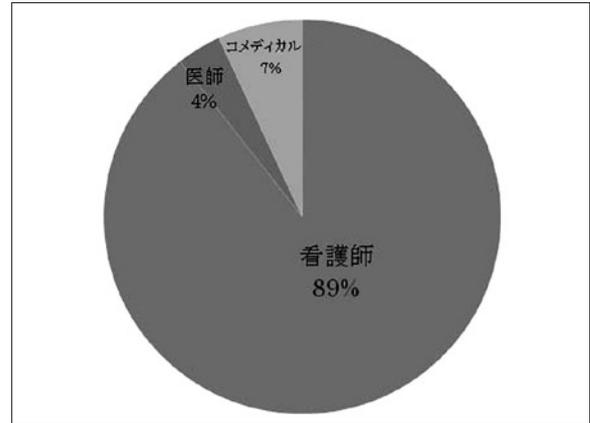


②平成23年 種類別報告一覧



③平成23年 職種別報告一覧

(総数 4,790件)



(12) 医療機能評価機構患者安全推進協議会との連携

- ・事例報告
- ・研修会の参加

(13) 社会、他の医療機関等に対する貢献

- ・講師として患者安全・医療安全・医療の質に関する情報の提供

4. その他・来年の目標

従来の業務に加え来年は以下の諸事項を目標としている。

- (1) e-ラーニング導入の検討
- (2) 研修会出席管理システムの検討
- (3) 事象分析・医療コンフリクト・マネジメントの普及
- (4) 医療の質向上のための情報収集と情報還元の制度作り
- (5) 医療の質向上のための体制整備
- (6) マニュアルの整備

これらの目標達成へ向けての努力と並行して、病院内での横断的なコミュニケーションが円滑に進むように支援していきたいと考えている。